

本会議における一般質問の議員1人の持ち時間は、答弁も含めて75分以内と決められています。

健康寿命につながる施策展開を

高橋さゆりが問う

皆さん、合言葉は「自分の健康は自分でつくる」です。



学校給食センターは、老朽化のため春休み中でも職員の点検・整備が欠かせません。



親しい人と会つての会話が元気の源になる。
(小川Aはつらつクラブ)

誰もが安心で安全な地域を

山口勝士が問う

地域のみんなで、命を守りあえるように!



みどりが丘1丁目の町が管理している空き地。

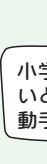
交流が生まれる芝生広場を

井口亮一が問う

町と住民が連携して、町の空き地に芝生を育ててみよう。



(S・Rさん・47歳)



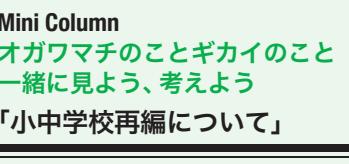
(K・Sさん・62歳)



(H・Mさん・38歳)



(T・Nさん・48歳)



Q 小川町健康増進計画・食育推進計画「元気アップおがわプラン」を見る
と、当町では脳血管疾患での死亡率が県平均よりも高くなっている。脳ドックの費用助成の考えは。

A 町民課長 県内では、国民健康保険あるいは後期高齢者医療保険の加入者を対象として、人間ドックとあわせて脳ドックの助成を36市町で実施しています。今まで検討をしてきましたが、当町に合った形態を調査していきます。

Q 昨年度末に小川町歯科口腔保健の推進に関する条例が制定された。歯科健診の費用助成は。

A 健康福祉課長 平成31年度は、子育てや仕事に忙しい世代に歯と口腔ケアの大切さを周知し、定期的な歯科健診の受診につながるように取り組みます。

Q 昭和55年稼働で老朽化が進んでいる。学校再編とセットで考えているのか。食育の観点で複合施設の考えは。

A 学校教育課長ほか 学校給食センターの最も重要な役割は、安心・安全な給食を配食することです。学校の再編がどのように進んでも独立して考えています。複合施設も視野に現在検討しています。

して、内容の充実した個別計画の作成に協力いただいています。

Q 要介護になつても地域での交流を

A 要介護状態になつても、可能な限り「いきいきサロン」や「はつらつクラブ」など地域の活動に参加し、交流を大切にしてあげられないだろうか。

Q 「いきいきサロン」は、芝生化を実現する活動のさらなる推進や工夫はで

A 長生き支援課長 社会福祉協議会の事業である「いきいきサロン」は、

実施している地域が参加の条件を決めてい

ます。おおむね65歳以上の方という以外は、地域の実情に合わせてなるべく参加の範囲を狭めないようお願いしています。「はつらつクラブ」についても、制度を柔軟にすることと、参加しやすくなるよう検討しています。

豊かな地域社会の形成に重要な役割を果たすと考え、芝生化を推進するためには、芝の苗を無償提供している事業と承知しています。

Q この制度を活用して、芝生化を実現する活動のさらなる推進や工夫はで

A 生涯学習課長 既存施設のグラウンドでは、芝生化することによる不具合が生じる競技もある上、維持管理の費用や人的体制も整わないと考えられます。

Q みどりが丘1丁目の町が所有する空き地で、芝生化の実証実験はできないか。

A 政策推進課長 みどりが丘自治会及び住民からの相談や要望があれば、具体的に考えています。また、自治会や地域住民の協力があれば、芝生化の実証実験は可能なものと考えています。